

ニューヨーク調査報告

(1)概要及びまとめ

1.日程スケジュール

項目	日付	場所
パッキング	2/5	大阪市内
国内移動	2/5	大阪市内→成田
輸出	2/6	成田→JFK
到着	米現地時間 2/6 (日本時間 2/7)	JFK→ニューヨークマンハッタン
販売先確認	① A ②B	

2 試験区分

処理区

箱サイズ	詰め方と本数	箱数	包装資材	内容物の記載
標準箱 大	通常量 60本	1×2 件	既存の資材で包装	グロリオサ
既存箱 大	通常量 60本	1×2 件	既存の資材で包装	グロリオサ
既存箱 大	通常量 60本	1×2 件	リブロングシートで包装	グロリオサ
標準箱 小	通常量 200本	2 品種×2 件	既存の資材で包装で包装	スイートピー
既存箱 小	通常量 200本	2 品種×2 件	既存の資材で包装で包装	スイートピー
既存箱 小	通常量 200本	2 品種×2 件	リブロングシートで包装	スイートピー

グロリオサ 6 ケース スイートピー 12 ケース 計 18 ケース

3 評価 (概要)

品目名	詰め方	包装資材	傷み(既存との比較)	鮮度感について(既存との比較)
グロリオサ	互い違いに隙間なく	新聞紙	特になし	特になし
スイートピー	足元を内側に向けて一列に(テープで足止め)	スリーブ	特になし	特になし

#### 4.国内のパッキン作業における箱の使い勝手

使い易さ	種類	評価 (◎○×△)	コメント
フタがしめにくい	大	○	
フタがしめにくい	小	○	スイートピーの長いものだと少々窮屈な感じがした。
	既存の箱	○	

#### 5.外国への着荷時点での強度確認

着荷時強度	種類	評価 (◎○×△)	コメント
普通	大	○	通関業者の取り扱いの問題もあるが、一部箱のゆがみやつぶれがみられた。
普通	小	○	同上
普通	既存の箱	○	同上

#### 6.デザインに関するヒアリングの結果

デザイン	種類	評価 (◎○×△)	コメント
日本語を大きく表記するより英語を大きくすべき。日本＝ピンクというイメージはない。各国国旗やイメージカラーを用いることが多いのでそうしてはどうか。また、日本と聞くと赤や日の出をイメージするとのこと。	大	○	既存のシンプルな箱でも問題はなさそうであった。
同上	小	○	同上
シンプルで、日本の物とはわからない。	既存の箱	○	

## (2)写真及び詳細

### 1. 箱の組み立ての様子 写真 1-3

#### 写真 1

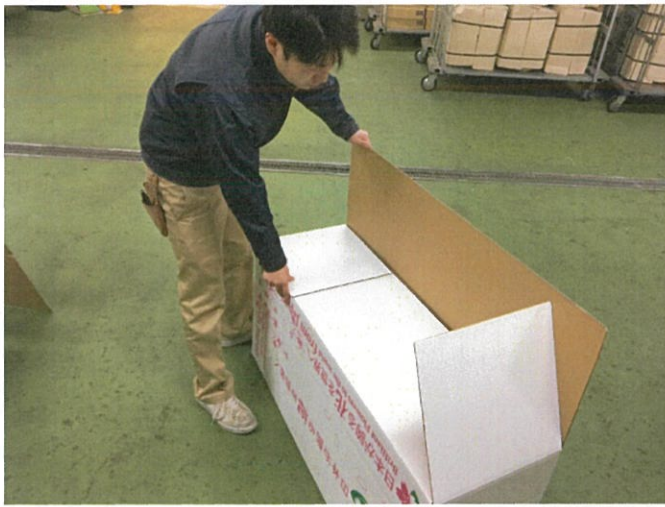


写真 2

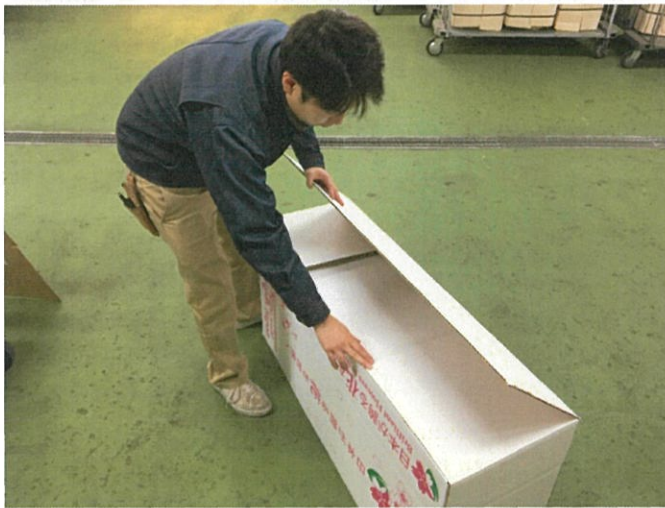


写真 3



大：強度を上げる為 2 重蓋にしていることで組み立てづらい。  
小：折り畳みのクセが強くついているため組み立て後フタがしめにくい。

2. 箱詰めの様子 写真 4-9

グロリオサ



写真 4 (空箱)



写真 5 (標準箱 シートなし)



写真 6 (標準箱 シートあり)



写真 7 (標準箱 シートあり)



写真 8 箱締め



写真 9 目張り (グロリオサ凍傷防止の為)

スイートピー 標準箱 (シートなし) 写真 10-13



写真 10



写真 11



写真 12



写真 13

スイートピー 標準箱 (シートあり) 写真 14-15



写真 14



写真 15

グロリオサ 既存箱 写真 16



写真 16

スイートピー 既存箱 写真 17



画像 17

箱詰めの上易さについて

大：詰める際に大きな差はないが、二重蓋の為締めにくい。

小：折り目の方が強く蓋が少し占めにくい、長さのあるスイートピーは少し窮屈な感じがした。

箱が並んだ様子 写真 18-19



写真 18



写真 19

トラックに積載する様子 写真 20-21



写真 20



写真 21



着荷の様子 写真 22-23



写真 22



写真 23

箱の潰れ・破損の様子 写真 24-25



写真 24



写真 25

開封の様子 (グロリオサ)

既存箱 写真 26



写真 26

標準箱 (シートあり) 写真 27



写真 27

標準箱 (シートなし) 写真 28



写真 28

グロリオサの状態 写真 29-30



写真 29



写真 30

大きなダメージは見られなかった

開封の様子（スイートピー）

左から 既存箱・標準箱（フラワーリブロングシートあり）・標準箱（フラワーリブロングシートなし） 写真 31-32



写真 31



写真 32

スイートピーの状態 写真 33-34



写真 33



写真 34

特に大きなダメージは見られなかった

### 新箱についてのヒアリング・・・

標準箱を作ることは悪くないが、特注などを除いて、卸で開封してしまうため人の目に触れることはほとんどないとのこと。他国は国旗をプリントしたり、国旗から連想されるイメージカラーを使用して箱を作成したり、一目でどこの国の箱がわかるようなデザインになっていると説明を受けた。また、箱が変わることで購買意欲が上がったり、高級感が伝わるということは特になく、国で統一するより会社の統一で問題はないであろう。との意見もあった。

### ヒアリング先の情報

規模・・・大規模

業態・・・卸

### ヒアリングの様子 写真 35



写真 35

取引先バックヤード 写真 36-38



写真 36



写真 37



写真 38

品質について

- 大 グロリオサ 既存 . . . 問題なし
- 大 グロリオサ シート . . . 問題なし (シート無しと変わらず)
- 小 スイートピー 既存 . . . 問題なし
- 小 スイートピー シート . . . 問題なし (シート無しと変わらず)



### (3)結論

標準箱の使い勝手や強度は既存箱と比較して大きな違いはない。出荷箱の多くはバックヤードで開封するため、卸の顧客の目に触れる機会は少ない。標準箱を作ること自体に問題はないが、海外の人が持つ“日本のイメージ”（国旗の赤や、日の出など）を取り入れたデザインにする方が、日本の花の高級感やネームバリューを高める可能性がある。